

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	東洋医学臨床論1	講義	4	80	東洋医学概論1・2、経絡経穴概論1・2 臨床医学各論1・2、臨床医学総論 リハビリテーション医学
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸学科 2年	朝岡 徹 森井健司 川口 拳	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特記事項なし		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>ここで学ぶ知識は今年度実施される「臨床実習2」や翌年度に予定される「はりきゅう実技7・8・9」ならびに「臨床実習3」において実施される愁訴や疾患を主題とした診察ならびに施術練習の基礎知識という位置付けとなる。 なお本科目21～40回目に実施される内容はそのまま次年度の「はりきゅう実技8」の内容となる。</p> <p>【教育目標】 鍼灸臨床において遭遇する頻度の高いものから知っておく程度で良いものまでの現代医学的疾患および東洋医学的弁証について、それらの診察から施術方法までを一貫して学び、患者の愁訴から鑑別診断とそれに見合う治療方針を想定できる知識を養う。</p> <p>【行動目標】 ①本科目履修範囲内から作成された国家試験相当の難易度の多肢選択問題を正答率60%以上で解答できる。 ②西洋医学的診療について、症状や所見から想定される診察法や疾患名、鍼灸適否の判断を述べることができる。 ③東洋医学的診療について、四診から想定される弁証や治療方針、鍼灸適否の判断を述べることができる。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>まず現代医学的な疾患の理解と、症状から疾患を鑑別することが必要になります。鑑別ができた時点で東洋医学的のどのように捉えるか学習していきます。どちらの面においても、他科目で習った内容が必要なので、科目の枠に囚われず応用する力を身につけてください。 教科書やプリントの補足説明を多くしていきますので、口頭説明なども積極的にメモを取っていき勉強に役立ててください。 毎回の授業で東洋医学概論、経絡経穴概論の教科書を使います。必ず持参してください。</p>					
教科書・参考書					
<p>主題として取り扱う教科書は、東洋療法学校協会編「東洋医学臨床論」と「臨床医学総論」と「臨床医学各論」 参考として扱うのは東洋療法学校協会編「リハビリテーション医学」「臨床医学総論・各論追加資料(Web版)」 更に本科目を理解する基礎知識として「解剖学」「生理学」の予習が役に立つ。 予定表中のテーマ欄には、場合によって主として取り扱う内容を【主題】として、また、主題の理解に参考となる内容を【参考】として各々の教科書該当項目とページ数を表記した部分がある。授業の回によって主となる教科書が本科目名と異なる場合があるので注意されたい。</p> <p>【その他の参考書】 東洋学術出版社「針灸学(基礎編)」「針灸学(臨床編)」「針灸学(経穴編)」 文光堂「図解 鍼灸療法技術ガイドⅠ 第2版」「図解 鍼灸技術療法ガイドⅡ 第2版」</p>					
受講時留意点、その他					
<p>【全科目受講時共通事項】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。 いったん配布した資料の再配布は、資源節約の観点から原則として行いません。なお、これに伴い配布した資料の控えと欠席者分の未配布資料については、当該年度内に限り職員室で保管いたします。授業中に受け取れなかった場合は担任もしくは授業担当者に授業時間外に相談して下さい。紛失等で再配布を希望する場合は、控えを貸出いたしますので当日中に自己負担で複製下さい。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験を前期と後期の最低2回実施。難易度は国家試験相当として、合格基準を正答率60%以上とする。問題形式は4者択一の他に、必要に応じて他の形式も出題することもある。			
その他		追加で成績加算対象となる課題や試験を実施する場合は都度事前に告知する。			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		【主題】東臨2章各論1疼痛01概説 打撲,コンパートメント症候群,外傷性骨化性筋炎,捻挫,慢性足関節不安定症,有痛性外骨種症,有痛性三角骨障害,肉離れ,脱臼,骨折,線維筋痛症,慢性疲労症候群,筋挫傷 055-068(14)		/	森井 川口
2		【主題】東臨2章各論1疼痛01概説 打撲,コンパートメント症候群,外傷性骨化性筋炎,捻挫,慢性足関節不安定症,有痛性外骨種症,有痛性三角骨障害,肉離れ,脱臼,骨折,線維筋痛症,慢性疲労症候群,筋挫傷 055-068(14)		/	森井 川口
3		【主題】東臨2章各論1疼痛01概説 打撲,コンパートメント症候群,外傷性骨化性筋炎,捻挫,慢性足関節不安定症,有痛性外骨種症,有痛性三角骨障害,肉離れ,脱臼,骨折,線維筋痛症,慢性疲労症候群,筋挫傷 055-068(14)		/	森井 川口
4		【主題】東臨2章各論1疼痛12胸痛 狭心症,心筋梗塞,気胸,肺癌,帯状疱疹後神経痛,特発性肋間神経痛 164-170(7)		/	森井 川口
5		【主題】東臨2章各論1疼痛12胸痛 狭心症,心筋梗塞,気胸,肺癌,帯状疱疹後神経痛,特発性肋間神経痛 164-170(7)		/	森井 川口
6		【主題】臨各08整形外科疾患01総論 保存療法と観血的治療,画像診断 122-124(3) 02関節疾患 関節炎,拘縮・強直・過剰な可動,五十肩 124-127(4) 【参考】リハ02章各論01整形外科疾患01運動器疾患 上肢(基礎知識) 182-184(3)		/	森井 川口
7		【主題】臨各08整形外科疾患02関節疾患 変形性関節症,変形性股関節症,変形性膝関節症 127-130(4) 【参考】リハ02章各論01整形外科疾患02運動器疾患 下肢(基礎知識) 197-200(4)		/	森井 川口
8		同上		/	森井 川口
9		【主題】臨各08整形外科疾患02関節疾患 変形性足関節症,変形性肘関節症,手指の変形 130-133(4)		/	森井 川口
10		【主題】臨各08整形外科疾患03骨代謝性疾患・骨腫瘍 骨粗鬆症,くる病・骨軟化症,骨腫瘍 133-141(9)		/	森井 川口

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		【主題】臨各08整形外科疾患03骨代謝性疾患・骨腫瘍 骨粗鬆症,くる病・骨軟化症,骨腫瘍 133-141(9)		/	森井 川口
12		【主題】臨各08整形外科疾患04筋・腱疾患 筋肉炎・筋膜炎, 多発性筋炎,化膿性腸腰筋炎,骨化性筋炎,悪性高熱,足底筋膜炎 141- 143(3)		/	森井 川口
13		【主題】臨各08整形外科疾患04筋・腱疾患 腱鞘炎(ばね指・ドケルバン病) 143-146(4) 重症筋無力症146-147(2)		/	森井 川口
14		【主題】臨各08整形外科疾患05形態異常 先天性股関節脱 臼,斜頸,側彎症,外反母趾,内反足 147-157(11)		/	森井 川口
15		同上		/	森井 川口
16		【主題】臨各08整形外科疾患06脊椎疾患 椎間板ヘルニア 157-159(3) 後縦靭帯骨化症 159-161(3) 【参考】リハ02章各論01整形外科疾患03運動器疾患 脊椎(基 礎知識)216-217(2)		/	森井 川口
17		同上		/	森井 川口
18		【主題】臨各08整形外科疾患06脊椎疾患 脊椎分離症・脊椎すべり症 161-162(2) 頸部変形性脊椎症,腰部変形性脊椎症 162-165(4)		/	森井 川口
19		【主題】臨各08整形外科疾患06脊椎疾患 頸部脊柱管狭窄症,腰部脊柱管狭窄症 165-167(3)		/	森井 川口
20		【主題】臨各08整形外科疾患06脊椎疾患 腰痛症,頸椎捻挫・むち打ち損傷 167-171(5)		/	森井 川口
定期試験(授業外実施)					

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		【主題】東臨1疼痛02頭痛 片頭痛,緊張型頭痛,群発頭痛,MOH 069-080(12) 【参考】臨総01頭痛 182-184(3) 臨各11章 神経疾患 11機能性疾患 緊張型頭痛,片頭痛,群発頭痛 272-274(3)		/	朝岡
22		同上		/	朝岡
23		【主題】東臨1疼痛03顔面痛 特発性三叉神経痛,持続性特発性顔 面痛,顎関節症,アイペイン 081-090(10) 【参考】臨総02顔面痛 185-185(1) 臨各11章 神経疾患 10神経痛 三叉神経痛 269-270(2)		/	朝岡
24		同上		/	朝岡
25		【主題】東臨2臓腑関連03脾07歯痛 う歯,歯周病,咀嚼筋の筋・ 筋膜性疼痛,特発性三叉神経痛,神経血管性頭痛,心理・社会的要因による 歯痛 275-281(7) 【参考】臨総03歯痛 186-186(1) 臨各02章 消化管疾患 01口腔疾患 歯周病,顎関節症,う歯 021- 023(3)		/	朝岡
26		【主題】東臨2臓腑関連01肝01眼精疲労 緑内障,白内障 181- 187(7) 【参考】臨総04眼精疲労 187-187(1) 臨各13章 その他の疾患 06眼科疾患 白内障,緑内障,眼精疲労 318-319(2)		/	朝岡
前期試験(授業外で実施)					
27		【主題】東臨2臓腑関連04肺03鼻閉・鼻汁 アレルギー性鼻炎, 急性鼻炎,慢性鼻炎 304-313(10) 【参考】臨総05鼻閉・鼻汁 188-188(1) 臨各13章 その他の疾患 07耳鼻科疾患 アレルギー性鼻炎 321- 321(1)		/	朝岡
28		同上		/	朝岡
29		【主題】東臨2臓腑関連01肝03めまい 良性発作性頭位めまい, 突発性難聴,メニエール病,耳管閉塞症,前庭神経炎,中枢性めまい 198- 207(10) 【参考】臨総06めまい 189-190(2) 臨各13章 その他の疾患 07耳鼻科疾患 メニエール病 319-320(2), 突発性難聴 320-321(2)		/	朝岡
30		臨各追加12皮膚・頭頸部・乳房疾患 良性発作性頭位めまい症 085-085(1),前庭神経炎 085-086(2),耳管機能不全(耳管狭窄症、耳管開放 症) 086-086(1)		/	朝岡

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
31		【主題】東臨2臓腑関連05腎02耳鳴り・難聴 突発性難聴(再掲)323-335(13) 【参考】臨総07耳鳴り 191-191(1),08難聴 192-192(1)		/	朝岡
32		同上		/	朝岡
33		【主題】東臨2臓腑関連04肺01咳嗽・喀痰 咳喘息,慢性閉塞性肺疾患(COPD)282-292(11) 【参考】臨総09咳・痰 193-194(2) 臨各04章 呼吸器疾患 02閉塞性呼吸器疾患 慢性閉塞性呼吸器疾患(COPD) 065-068(4)		/	朝岡
34		同上		/	朝岡
35		【主題】東臨2臓腑関連04肺02呼吸困難 肺炎,気管支喘息,慢性閉塞性肺疾患(COPD)(再掲),肺癌(再掲),心不全,貧血(再掲),過換気症候群,ギラン・バレー症候群 292-304(13) 【参考】臨総10息切れ(呼吸困難) 195-198(4) 臨各04章 呼吸器疾患 01感染性呼吸器疾患 肺炎 061-063(3),03アレルギー性疾患 気管支喘息 069-070(2),05その他の呼吸器疾患 肺癌 074-078(5)		/	朝岡
36		11章 神経疾患 09末梢神経性疾患 ギランバレー症候群 265-265(1) 臨各追加01感染症 02肺炎球菌感染症 017-017(1),07過換気症候群 037-037(1)		/	朝岡
37		【主題】東臨2臓腑関連02心01動悸・息切れ 不整脈,貧血 208-214(7) 【参考】臨総11動悸 198-200(3),40貧血 251-252(2) 臨各09章 循環器疾患 01心臓疾患 心不全 193-196(4),不整脈 206-207(2)		/	朝岡
38		10章 血液・造血器疾患 01赤血球疾患 鉄欠乏性貧血,巨赤芽球性貧血,溶血性貧血,再生不良性貧血 221-227(7) 臨各追加04循環器疾患 01頻脈性不整脈 039-041(3),02期外収縮 041-042(2),03徐脈性不整脈 042-044(3)		/	朝岡
39		【主題】東臨2臓腑関連02心03睡眠障害 不眠症 222-231(10) 【参考】臨総34睡眠障害(不眠) 242-243(2)		/	朝岡
40		予備		/	朝岡
後期試験(授業外実施)					